

# 県民の命とくらしにかかわる緊急課題で質問

## 日本共産党の 辻つねお議員が質問

九月二十六日の県議会本会議で日本共産党の辻つねお議員は改選後の初質問に立ち、県民のくらしと命にかかわる緊急課題で県の姿勢を追及しました。

### 雇用問題 雇用創出に努力を 知事——全庁をあげて積極的に取りくむ

**辻議員** 七月の完全失業者は三百四十二万人、その半数が三十四歳以下の若者だ。四百十七万人の若者が「フリーター」と呼ばれる不安定な就労と失業を繰り返している。

①若者の雇用対策は全庁あげて取り組むべき課題と考える、②独自の相談窓口を設置し、若者が集う場所に「青年ハローワーク」の開設を、③大企業に雇用責任を果すよう働きかけを、④長野県の臨時職員の直接雇用をはじめ大阪府、京都府などが行政として雇用創出に努力している、広島県も打ち出してはどうか。

サービス残業をなくすことは雇用を増やす大きな効果がある。サービス残業が法律違反であることを徹底し、企業に排除を徹底すべきだ。

大企業のリストラ野放しは雇用悪化の大きな原因。身勝手なリストラ規制の条例をつくるべきだ。

**知事** 「産業や地域の活力の維持にも重要な課題と認識している。国、経済団体など関係諸機関と連携を強め、全庁あげて積極的に取り組む」と答弁。

**土工労働部長** 若者の雇用確保へ「企業に積極的に働きかける」、サービス残業は「司法処分も含め厳正に対処している。十一月

### 融資制度 利用しやすい制度に改善を 「効果的な制度になるよう検討する」

**辻議員** 四月から県費預託融資制度に「借換資金融資制度」が創設され中小企業を励ました。融資実績は低迷している。利用しにくいのが実績低迷の原因ではないか。京都府の「あんしん借換融資」は、制度融資はもとより市中銀行からの借入れの借換と新規融資、その併用も可能で利用しやすい制度になっている。保証協会の保証つきの県費預託融資の残高がある者に限るといふ条件を緩和すべきだ。

**土工労働部長** 「利用促進や広報に努めるとともに、より効果的な制度となるよう引き続き検討する」と答弁。

### 公共 見直しは財政事情からも急務

**辻議員** 公共事業を見直し、ムダを省くことは県の財政事情からも急務だ。平成十年から県事業評価監視委員会が行っている事業の再評価は、①直接、利害のある地域住民の立場を考慮する、②歴史的・社会的背景、環境・景観への配慮、③地域住民への説明責任、災害に対する評価、県の財政状況からみた評価——も追加し事業を厳選すべきだ。改善提案にかかわって、次の具体的事業について質問する。

### 橋の橋 鞆埋め立て架橋計画は白紙に 知事が質問の趣旨をねじ曲げた答弁

**辻議員** 福山市鞆地区の埋立架橋計画が事実上、白紙に戻った。鞆地区は江戸時代に築造された波止、常夜灯、雁木、船番所跡、焚場跡が一体に現存している国内唯一の港であり、昨日、崩壊や消失の危機に瀕する人類遺産（ワールド・モノユメント・クオッチ）に再び登録された。歴史的建造物をはじめ重要な観光資源となっている。埋立架橋計画を凍結でなく白紙に戻し、町民の合意をつくりながらまちづくりに努力すべき。世界遺産への登録などを積極的に推進してはどうか。通過交通の対策はトンネル案で十分だと考える。

**知事** 「鞆地区道路港湾整備事業計画は総合的に検討、策定したものであり、通過交通の視点だけからの検討は諸課題の解決につながらない」と質問の趣旨をねじ曲げた答弁をしました。

### 道路問題 説明会の参加制限は不当 「参加者の制限は考えていない」

**辻議員** 福山道路などの事業説明会はこれまで参加制限がなかったが、沿線住民の参加を制限しようとしている。国土交通省が5月に出した情報公開と住民参加の手続きに従えば、参加者を制限しないのが当然ではないか。

福山西環状道路では「住民の理解と納得のもとですすめる」という約束を無視して、合意なしに現地調査をしようとしている。事業説明会が終わるまで現地調査を凍結し、勉強会で説明できていない問題に誠意ある回答をするよう求める。

県道熊野・瀬戸線は、地元住民が①同方向の車道が3線あり、新道は必要ない、②環境を壊し交通事故の多発、公害の源になる、③福山道路建設で生まれる残土処理のための道路、と白紙撤回を求めている。

**土木建築部長** 「沿線居住者を対象とした説明会は、参加者を制限することは考えていない」と約束、西環状道路、県道熊野・瀬戸

### 見谷道 細林 貴重な溪畔林の開発撤回を求めよ 「自然環境の配慮を要請する」

**無料法律・生活相談日**  
毎月第4金曜日の午後6時半からです。事前に連絡して下さい。福山法律事務所の弁護士が相談に応じます。

**事務所/TEL・FAX(921)6705**  
**自宅/TEL(955)5357**  
E-mail:tutu@mx4.tiki.ne.jp

**辻議員** 緑資源公団は、大規模林道、戸河内・吉和区間の未着手十四・四kmの地質調査を始め、来年度にも工事着工の計画だ。計画地には中国山地に残る貴重な溪畔林があり、日本生態学会は工事が実施されれば重大な損失になると、異例の開発反対決議をした。昨年七月には建設中止を求め一万五千人の署名が県に提出されている。

開発の撤回を求め、徒歩による自然観察道、散策ルートをつくり、自然観察、環境教育の場として活用してはどうか。

**農林水産部長** 「早期完成の強い要望があり、事業を推進する必要がある」「溪畔林部分は環境に十分配慮する必要があり、緑資源公団が環境調査をしている。調査結果を注視し、自然環境面に十分配慮して実施するよう要請する」と答弁。

**日本共産党  
県議会ニュース**

2003年11月  
No.4

日本共産党広島県議会議員

TEL・fax 082(228)6577  
ホームページ  
http://tsuneo.jp/